

2018年度協約改訂交渉を全組合員で闘おうシリーズ

会社が協約・協定改訂団体交渉の回答直後に

新幹線で休日出勤1～2泊指定を通知

**交渉回避？会社はどこまで
組合員社員の切実な要求を
抹殺するつもりなのか！？**

9月13日、2018年度基本協約・協定改訂第8回団体交渉が開催され会社は回答を行いました。その直後、会社は新幹線地本と新幹線関西地本に対して「10月からの勤務指定で、新幹線乗務員に対して1～2泊の休日出勤を指定する」と一方的に通知してきました。

会社は9月3日第5回団体交渉の中で、「休日出勤の今年度の見込みは、新幹線ではゼロ。現時点で計画どおりとなっている。車掌減による効果が出ている」としていました。また、JR東海労の「車掌数に余裕があるはずなのに年休が入らないのが現実。でたらめな計画なのではないか」との指摘に「計画はしっかり立てている」と反論していました。驚くべき事にわずか10日間の間に方向転換を図り、その間の団体交渉の中で会社は全くそのことに触れなかったのです。このように労働組合との協議を軽視し、組合員社員の期待を裏切るような会社の姿勢は断じて許せません。

JR東海労本部は直ちに会社に抗議し、認めることはできないことを通告しました。

休日出勤が発生するのは要員不足だからだ！休日出勤に頼るような要員体制は認められない！会社は休日出勤解消の努力を怠るな！！